

## 2 政策3「元気」 教育部

### (1) 部・課の役割

豊かな心と確かな学力の育成、人権教育の充実、体育・健康教育の推進、社会教育の推進に努めます。

#### 教育課

- 教育委員会の会議及び教育委員に関すること
- 教育課程の編成及び学校の運営管理に関すること
- 社会教育の推進、文化振興、社会体育及びスポーツ振興に関すること
- 世界文化遺産の推進に関すること

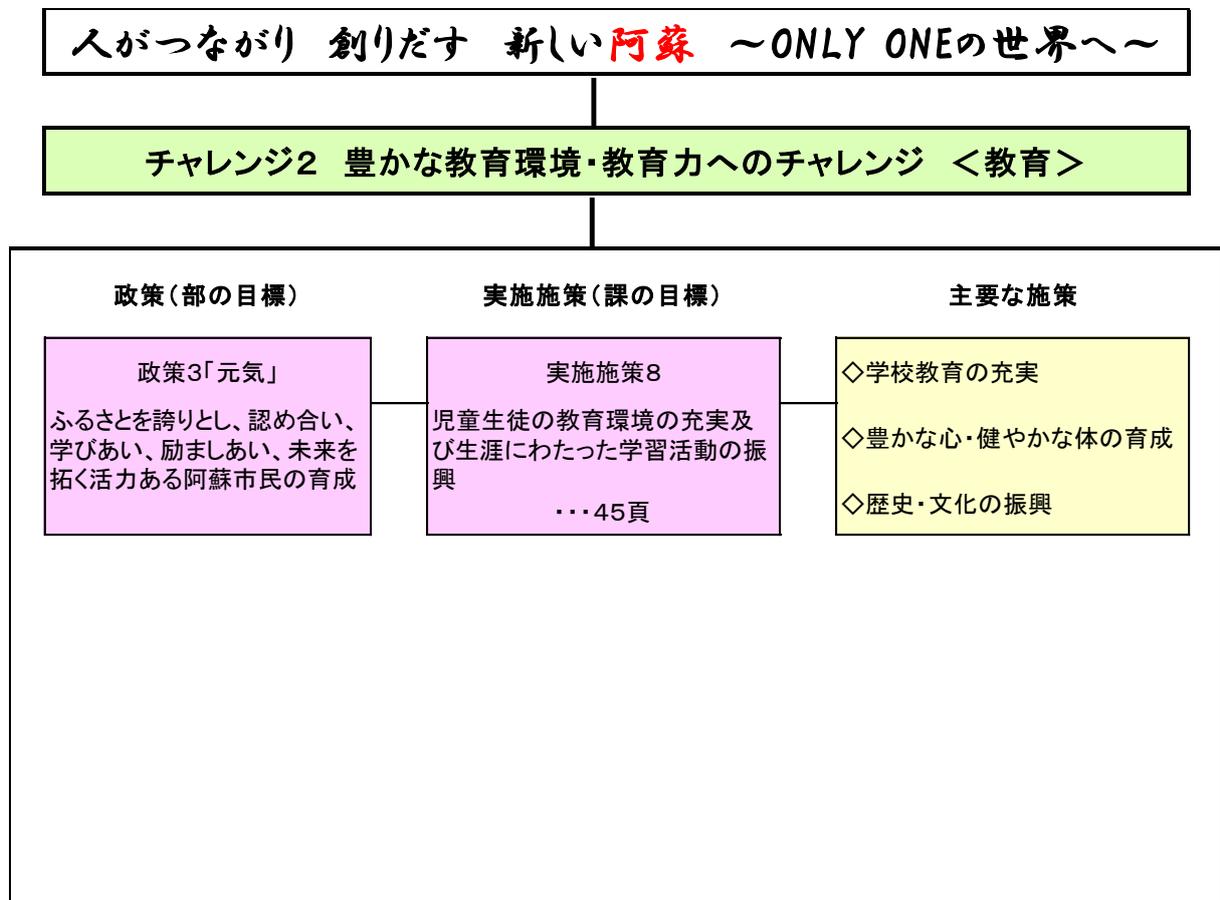
### (2) 現状と課題

- 小・中学校の計画的な統廃合や電子黒板などの導入を行いながら教育環境の充実を図ってきましたが、引き続き確かな学力の定着や特別な支援を必要とする子どもたちへのきめ細やかな支援など、取り組みを継続させていく必要があります。
- 郷土愛や豊かな人間性・社会性を育む取り組みとして、生涯学習やスポーツ活動など、幅広い世代に地域コミュニティへの参加を促していく必要があります。特に、子供たちの健全育成を図るため、小学校の部活動廃止に伴う総合型スポーツクラブ等での受け入れ態勢づくりが必要となっています。

### (3) 主な個別関係計画など

名 称	担当課	計画期間など
阿蘇市教育方針	教育課	平成17年度 策定
阿蘇市学校規模適正化基本計画		平成21年度 ～平成30年度
阿蘇市生涯学習推進計画		平成17年度 策定
阿蘇市子ども読書活動推進計画		平成24年度 策定

## (4) 政策3「元気」の体系図



政策3「元気」 ふるさとを誇りとし、認め合い、学びあい、  
励ましあい、未来を拓く活力ある阿蘇市民の育成

実施施策8  
(教育課)

児童生徒の教育環境の充実及び生涯にわたった学習活動の振興

学校・家庭・地域社会が一体となり、人権尊重の精神を基盤に置き、社会の変化に主体的に対応し、恵まれた自然環境や豊富な文化財を生かしながら、心豊かな人間性、社会性を備え、郷土を愛するたくましい子どもの育成に努めるとともに、市民が生涯にわたって生きがいと潤いのある生活を営むことができる社会の実現を目指します。

◆主要な施策

施策名	内 容	目指す効果	主な事務・事業
学校教育の充実	複式学級の解消、アクティブ・ラーニングの推進、特別支援教育の充実、ICT活用による授業改善、幼保小中連携の推進	児童・生徒の安全・安心な学校生活のための環境整備、個に応じた教育の機会の充実、情報化社会に対応する情報収集能力・分析能力・処理能力等の取得	○阿蘇市学校規模適正化基本計画に基づく小学校の統廃合 ○特別支援教育の充実 ○ICT活用による情報化社会への対応の充実
豊かな心・健やかな体の育成	生涯にわたって自由・自主的に学習する機会の提供、地域スポーツ活動の支援及び総合型スポーツクラブの充実	豊かな人間性・社会性を備えた郷土を愛する子どもの育成、学んだことを地域で還元できる仕組みづくり、学校を核とした地域づくり、市民の運動・コミュニティの場の充実拡大及び健康・競技スポーツの充実	○生涯学習講座の充実 ○地域学校協働活動の推進 ○総合型地域スポーツクラブの加入促進
歴史・文化の振興	貴重な文化財の調査・保全、地域の特徴ある魅力の築き上げや地域の宝としての活用、郷土芸能団体の活動支援及び児童生徒への伝承活動の推進	将来にわたる地域資源の保全活用、特色ある歴史文化の継承と地域の活性化	○文化財の保護と周知啓発の推進 ○伝統芸能の継承 ○世界文化遺産登録の推進

◆目指す指標

成果指標名	基準値 H28	前期目標 H32	最終目標 H36
統合後の学校数(小学校)	6校	5校	5校
熊本県学力調査で県平均を上回った項目数の割合	30%	50%	70%
社会体育へ移行した小学校の割合	0%	100%	100%
体育施設利用者数	28万人	30万人	32万人
総合型地域スポーツクラブ入会者数	240人	500人	800人
生涯学習受講者数	617人	800人	1,000人
市民一人当たりの貸出冊数	5.6冊	5.8冊	6.0冊